平成２３年８月１１日

各　　位

会　社　名　株式会社日本マイクロニクス
代表者名　代表取締役社長　長谷川正義
（ＪＡＳＤＡＱ・コード６８７１）
問合せ先　専務取締役企画管理本部長 藤崎直子
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０４２２－２１－２６６５

生産拠点の強化と効率化に関するお知らせ

当社は、海外生産拠点の強化及び国内生産拠点の効率化を下記のとおり実施することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．趣旨

現在ＦＰＤ市場では、スマートフォンやタブレット端末向け中小型パネルの需要が逼迫し、国内外にて増産設備投資が進んでおりますが、大型パネルにおいては世界的な生産調整の厳しい状況が続き、大手メーカーでは新たに有機ＥＬパネル等、高付加価値のパネルへとシフトする動きが現われています。特に韓国では、開発・量産化に向けて最先端技術を持つ海外関連企業の進出が相次いでおり、ＦＰＤ業界における韓国メーカーのシェアは更に拡大する傾向にあります。このような中、当社は韓国での事業強化を目的として新工場を建設することといたしました。

一方、国内における事業環境は厳しさを増しており、これまで以上に生産体制の効率性向上が求められています。このような背景において当社は、収益性向上を目的として、この度、半導体機器事業部の国内拠点を集約することといたしました。なお、ＦＰＤ機器事業部につきましても、具体的施策の検討を進めております。

当社グループは、当期が「連結中期3ヵ年経営計画『Challenge11』」の最終年度にあたります。次期計画のより良いスタートに向け、以上の施策を実施し、より一層の事業拡大を図ってまいります。

２．海外生産拠点強化の概要

① 韓国忠清南道牙山市に韓国子会社（MEK Co.,Ltd.）の新工場を建設する。着工は平成23年8月、竣工及び正式稼動は平成24年1月の予定。

なお、当社は韓国を重要市場と位置付け、平成15年11月にＦＰＤ機器事業の子会社として京畿道富川市にMDK Co.,Ltd.を設立し、プローブユニットの設計・製造・販売及びメンテナンスを行っておりましたが、本年6月30日、グループ経営の効率性向上を図り、平成20年10月に設立の当社半導体機器事業の韓国子会社MEK Co.,Ltd.（京畿道富川市）と合併しております。

② 新工場を建設する子会社の概要

会社名　MEK Co.,Ltd.
所在地　韓国京畿道富川市
代表者　代表理事　姜 錤相
資本金　約5,000百万ウォン

③ 新工場の概要

所在地	韓国忠清南道牙山市
建屋床面積	4,150㎡
投資金額	約4,800百万ウォン（約350百万円）
資金調達方法	自己資金及び銀行借入

３．国内生産拠点効率化の概要

① 茨城テクノロジーラボラトリー（茨城県筑西市、以下、茨城ＴＬ）での生産を青森工場（青森県平川市）に統合する。主要機械設備は青森工場へ移設し、賃借していた茨城ＴＬの工場建屋は、平成 23 年 12 月をもってＮＥＣコンピュータテクノ(株)（茨城県筑西市）へ返還する。

なお、茨城ＴＬは、平成 16 年 5 月 ＮＥＣコンピュータテクノ(株)より設備一式を購入し、当社プローブカードの部材生産拠点として開設いたしましたが、その後、プローブカードの生産能力拡大やプローブカードの大口径化に伴い、青森工場でも同部材の生産を行っております。

② 生産拠点の集約に伴い、茨城ＴＬの人員は配置転換を予定。

４．当期の業績に与える影響

本件が業績に与える影響は現在精査中であり、今後の業績に影響を与えることが見込まれる場合、速やかにお知らせいたします。

以上